

№120号 ふくし一里塚

学区の現状 2月1日現在
 65歳～74歳 人口 2,287人
 75歳以上 人口 1,795人
 高齢化率 15.79%(市全体 20.91%)
 発行：守山学区社会福祉協議会

福祉講座開催 1/24

講師に医療法人 藤本クリニック理事長 藤本直規さんをお迎えし、認知症の理解と対応についてご講演いただきました。

認知症を完全に治すことは、まだ難しいですが、病気の種類、個々の症状に合わせて薬を使うことで、本人の生活能力を長く維持することができ、家族の負担軽減にもつながります。その人が持っている機能を通じて働きかけることにより、認知機能の低下を防ぎます。精神的に安定すると、本人に安心がもたらされるので、行動・心理症状を防ぐことができたり、認知機能障害にも有効に働きます。

認知症は誰でもなる可能性のある病気なので自分たちの問題とし、正しく理解し偏見を持たず、本人や家族を見守ることから始めましょう。



福祉協力員視察研修 1/26

知的障害、肢体不自由児通学校の滋賀県立野洲養護学校を訪問しました。

野洲養護学校は、在学する全ての子どもの願いや思いを大切にし、一人ひとりの持てる力を最大限に伸ばし、社会の主人公として、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる教育をめざし取り組んでおられます。

守山市内からも 100 名以上の子ども達が通学し、たくさんの人と出会い、色々なことを経験し学び成長しておられます。卒業後の子ども達が地域社会の一員として活動し、豊かで生き生きとした生活が送れるような、地域福祉について考える機会となりました。



・・・友愛訪問・・・

高齢者おひとり暮らしの方を対象に、友愛訪問事業を実施しています。



余寒なお厳しい折からお体をおいといただきますようお祈り申し上げます。

地域福祉部会

エコキャップ運動にご協力いただきありがとうございます



12・1月の回収量は約 60 kgでした。
 ポリオワクチン 30 人分になります。

「自治会って何だろう」 梅田町自治会

福祉とは、一説に「すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を指す」とありますが、梅田町では自治会の目的として「区域住民が協力し合い住み良い地域社会づくりを行う」と定めています。会員が急増している当自治会では、目的成就を念頭に従来の考え方に留まるだけでなく、時代背景に照らし、新しい仕組みを提案する努力を積み重ねていきたいと考えています。

“ふれあい”や”絆”それを構築するには、子ども達や新しくお住まいの皆さんへの提案、提供が何よりです。現自治会のテーマ「今、未来をささえる子ども達のために」を今後も実践していこうと、これが基本です。

もちろん、会員の皆さん全員には言うまでもありません。



バーベキュー大会

自治会館並びに 「勝部自治会火まつり交流館」完成間近

今勝部では自治会館の建て替え工事が最終段階に入っています。

この自治会館は 800 年の伝統と歴史を有する無形民俗文化財としての火まつり交流会館が常設されています。最大のポイントは近江富士を模った大屋根です。



また、老若男女が安心して集える場所として和室・大広間・レストラン・カフェもあります。大広間の名称も一番太鼓・二番太鼓・三番太鼓と毎年 1 月に行われる火まつりにちなんで命名されています。

3 月末には竣工となります。自治会会員の誰もが完成を楽しみに待っているところです。守山にお住まいの方のみならず、沢山の方々のお越しをお待ちしています。

